

桜旅行最終は自分の家の御衣黄

2013年5月20日

澤田 繁 著

清水高原の冬は例年並みに長い冬でした、それでも3月下旬から咲きはじめたまんさくの花を春の訪れと感ずることができ、長い冬は今年も終わりました。

今年の日本の桜は例年より早く始まった。松本盆地の桜は例年は4月中旬なので、まちきれずに数年前から山梨県まで出かけていました。今年は出遅れてもう遅いかなと思いながら4月2日山梨に出かけました。

場所は鯉沢の近くの大法師山です、高速から桜の山が見えてきました、どうやら間に合ったと思い気分も上々になり、今年初めての花見の始まりでした。

4月9日、松本盆地も早いところは、咲き始めました。花見の第二段、清水高原から下ってふもとの山形



<4月2日 山梨県/大法師さくら祭り>



<4月9日 高遠の桜>

桜の木が何本かあると聞いている、松本歯科大に寄ってみました、时期的のもう遅いと思いましたが、予想に反して満開でした。この庭には他にようき、うこん等のめずらしい桜が集められていました。

5月に入り、清水高原の桜が咲き始め、15日にはテニスコート周辺が満開になりました。

5月20日、我が家に1本だけある。御衣黄が、緑色の花からうすいピンクに変わり最盛期を向かえました、これが長かった今年の花見の終わりを告げるのにふさわしい

いきよいでした。歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvm.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>



<5月20日 標高1200m御衣黄の最盛期>